

第5号

2015年6月

学校給食会だより

編集発行



公益
財団法人

栃木県学校給食会

〒321-0113 宇都宮市砂田町669

TEL.028-656-6511(代)

URL:<http://www.tgk.or.jp>



Contents

就任あいさつ

職員紹介

提言

行事関係報告

栄養士さんからのメッセージ

栃木県学校給食会の歩み

参考資料

平成27年度学校給食関係行事について



就任あいさつ

公益財団法人
栃木県学校給食会理事長
村上 雅之

この度、高梨前理事長の退任に伴い、4月から職務を引き継がせていただくことになりました。微力ではございますが、全力で職務に精励していく所存ですので、ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

日本の学校給食は、世界の中でもおいしく、栄養バランスがとれており、優れているという評価を受けている訳ですが、栃木県の給食も同様に優れており、これは県、市町教育委員会と学校や給食センター、共同調理場が連携を十分図って実施している賜物であると考えます。

私自身の10年前の経験で恐縮ですが、文部科学省の教育事情調査で、高福祉社会の北欧ノルウェーを訪問して、6校の公立学校を訪問した中、給食を実施していたのは1校であり、それも飲み物と簡単な2品目のものが出された程度でありました。近年は改善されたかどうか不明ですが、福祉の充実している国であっても、給食は見過ごされていることを実感した次第です。

また、食育を教育の中に取り入れている点は、世界的にはトップクラスであります。食を教育の基本に据えた取組は、人間生活の基本であり、現代の家庭教育では実現できない部分を、学校教育が担う事にシフトする意味を持っているわけです。

さて、栃木県学校給食会は、公益財団法人に移行して3年目を迎えております。良質な給食用物

資の安定供給、安全確保・衛生管理、食育活動の支援、地場産物を使用した食品の開発など、学校給食の充実と食育推進を支援する諸事業を積極的に展開して参りました。本会は、原則として剰余金が生じない運営を求められておりますので、これまで以上に、先の見通しを吟味しながら、価格安定を含めまして、公益性をさらに高めていく努力をしたいと思います。

ところで、本会で扱っている学校給食用の物資につきましては、ご承知のように、栄養管理委員会・品質管理委員会での協議、選定を経て、物資委員会で決定する方式を長い間とっており、栄養教諭学校栄養職や学校給食センターや共同調理場の所長・場長さんのお力をお借りしながら選定をおこなっております。学校給食用物資の選定にあたり、委員の皆さんのご意見やご要望をまとめて、本会の指定するメーカーに伝え、また、その製品の中から選んで使用するという、共同購入のシステムが、まさに、「安全・安心で、バランスのとれたおいしい給食」の実現に直結していると考えております。このシステムを中心に「信頼される給食会」を目指して職員と共々に取り組んで参ります。

今後とも、本会の事業並びに運営につきましても、なお一層のご理解とご指導をお願い申し上げます。まして就任のあいさつとさせていただきます。



(表紙写真：宇都宮市立岡本北小学校 給食風景)

【職員紹介】

学校給食会の窓口となる事務管理課と業務課の職員を紹介いたします。

○事務管理課：受注・配送および基本物資（パン・米飯・牛乳）に関する事。



業務主任
野口 隆子

担当地区：鹿沼、日光、足利



業務主任
高瀬 京子

担当地区：県立学校



業務主事
増淵 法子

担当地区：宇都宮、さくら、
那須塩原、佐野



業務主事
田島 久美

担当地区：下野、栃木、
那須塩原



業務主事
野尻 美佳

担当地区：栃木、日光、大田原



業務主事
稲荷山 節子

担当地区：宇都宮



業務主事
上野 智葉

担当地区：栃木、野木、
塩谷、那須



業務主事
池田 幸恵

担当地区：大田原、那須塩原
那須烏山、那珂川
基本物資
(牛乳・パン)担当



業務主事
鈴木 麻美

担当地区：栃木、矢板、さくら
高根沢



業務主事
山口 裕子

担当地区：宇都宮
基本物資(精米)担当



○業務課：充実事業・学校等との連絡調整・調理受託業務・厨房機器・広報に関する事。



係長
田口 郁子

担当地区：安足・下都賀、
宇都宮



主任
菊池 広晃

担当地区：那須・塩谷・南那須、
宇都宮



主事
吉澤 昇一

担当地区：上都賀・芳賀、
上三川、宇都宮



主事
鈴木 康祐

担当：調理受託



業務主事
青木 純子

担当：調理受託



業務主任
吉田 幸子

担当：厨房機器、調理機器



主査
高德 周

担当：広報

※次号では物資課、総務課、検査室の職員を紹介予定です。

2015年6月30日現在

提言



私の考える学校給食

栃木県学校給食センター研究会
会長 古内 裕之

このたび、平成27年度の会長を務めさせていただくことになりました。浅学非才の身ではありますが、誠心誠意努めさせていただきますので、皆様方のご指導・ご協力をお願い申し上げます。

本研究会会則の施行日を見ますと、今年度に50年の節目を迎えるのではないかと思います。

年度末に定年を迎える私が、小学校で給食を食べていた頃から活動しているのかと思うと、永い歴史を感じずにはおられません。

この間、先輩諸兄が、連綿と築き上げてこられた信頼と実績のある本研究会の会長を引き受けましたことに、あらためて、重責を感じているところです。

さて、学校給食の始まりは、ご存じのように、明治22年に山形県鶴岡市の私立忠愛小学校で、貧しい子供に「お握りと漬物」を配ったのが始まりとされています。

その後は、終戦後の栄養不足を補うためユニセフからのミルク、アメリカからの小麦粉の提供を受けて、本格的な学校給食が全国で開始されました。

私が小学生の頃も、この給食が続いていました。小麦粉は、実際にはコッペパンになりますが、今のパンと違い、数日立つとカチンカチンに固くなってしまいます。

クラスで近所の子が休むと、先生からワラ半紙に包まれたパンを渡され、帰り道に届けたものでした。現在では、衛生上は問題がなかったのか、疑問に思います。

次に、ミルクの思い出ですが、当時は、脱脂粉乳と呼んでいました。アルミかアルマイトのお椀に、大きなアルミのポットから温かいミルクを給食当番が入れてくれます。配膳が終わり、喫食の時には、ヌメヌメした薄い膜が張ります。飲むときには、舌ざわりは良くないし、口の周りに付くし、つまんで取れば、また、直ぐに膜が出来てしまいます。

科学的には、ラムステン現象と言うそうですが、表面の水分蒸発によりタンパク質と脂肪が熱変性して膜になるとのことで、なお、牛乳が豆乳に変われば、高級な湯葉になるとのことです。

話が横道に逸れましたので、本題に戻しますが、当初の学校給食は、成長期の子供達への栄養摂取が主目的であったと思います。

栄養過多や肥満も増えてきた現代では、『子供達が喜ぶ給食』、『おいしい給食』、『安全で安心な給食』、『食育に合わせた給食』、『地産地消に心がけた給食』などの様々な考え方があると思います。学校給食を担当する者として、どこに主眼を置くかは、大事なことと私は考えます。しかしながら、昨今の学校給食を取り巻く環境は、消費税や円安による食品・食材の相次ぐ値上げがあり、また、生命に関わるアレルギー対応食、異物混入、原発事故を起因とする放射能検査などの問題が山積しており、大変厳しいものがあると考えております。

私は、学校給食課長として4年目ですが、北部学校給食センター所長としては2年目ですので、調理現場の経験や知識は乏しいと思いますので、大きなことは言えませんが、あえて言わせていただきますと、「安全、安心な学校給食」が一番だと考えております。学校給食センター由来の「食中毒」、「異物混入」の根絶に向けて、職員と一緒に努力しているところです。将来を担う栃木県の児童・生徒が、健やかに成長するよう、「おいしい給食」にも、一層の心掛けをしていきます。

しかし、郷土料理『しもつかれ』は、子供達から「不味い」と言われ続け、本当に人気がなく、残菜も多いですが、食育の観点からも、引き続き出していきます。

いずれにしても、栃木県の学校給食の向上ため、また、センター研究会の発展のため、微力ながら一年間頑張りますので、よろしく願い申し上げます。

(佐野市教育委員会学校給食会課長 佐野市立北部学校給食センター所長)

行事関係報告

4月3日(金)

学校給食用パン・炊飯委託工場衛生管理講習会 参加者：45名

栃木県の学校給食用パン・炊飯工場の担当者を対象に、工場の衛生管理についての講習会を開催。

5月12日(火)

学校給食担当者事務研修会 対象者：新任の学校給食事務担当者 参加者：45名

新たに本年度から学校給食の事務担当になられた給食主任、事務職員、学校栄養職員を対象として、学校給食に係る講話および学校給食会の事務処理を説明。

5月21日(木)

平成27年度物資展示説明会事前説明会 対象者：栃木県学校給食会納入業者 参加者：100名

物資展示説明会（7月30日実施）に参加する給食会の取引業者が参加し、事前に注意事項等の説明と食に関するアレルギーの講話。

本年度は、「学校給食における食物アレルギーの現状と課題」を、栃木市教育委員会の管理栄養士 中田 智子先生、国立病院機構相模原病院の管理栄養士 長谷川実穂先生のお二人のご講話。



5月26日(火)

学校給食新任栄養職員研修会 対象者：新任の学校給食栄養職員 参加者：25名

新規採用の学校栄養職員の方を対象にし、先輩栄養職員の講話や、学校給食会の説明・栄養管理システムQネットの説明。本年度は「学校栄養職員の職務」として、益子町学校給食センターの平野悦子先生のご講話。



平野先生（自作の食育教材を手に）

5月28日(木)

公益財団法人栃木県学校給食会理事会 参加者：15名

栃木県学校給食会の運営機関。

5月29日(金)

第1回 学校給食用パン品質審査会

参加者：23名

年に3回パンを抜き取りしパンの専門家を審査員として呼びし、パンの品質を審査しています。
5段階評価をして情報は公開しております。



6月5日(金)

栃木県学校給食研究会理事・評議員会

参加者：38名

対象者：栃木県学校給食研究会理事・評議員（宇都宮市文化会館）

6月11日(木)

第1回栄養管理委員会

参加者：53名

学校給食用共同購入物資（平成27年度10月～1月の冷凍食品）の選定。



6月12日(金)

公益財団法人栃木県学校給食会評議員会

参加者：18名

栃木県学校給食会の最高決定機関。

6月18日(木)

第1回品質管理委員会

参加者：19名

栄養管理委員会で選定された学校給食用共同購入物資および製造工場の衛生面を審査。



学校栄養士さんからのメッセージ

学校給食に思うこと

那須塩原市立黒磯中学校

栄養教諭 山田 厚子



学校給食は、長い歴史を経て現在の給食が実施されています。

学校給食法が制定された頃の「心身の健全な発達と食生活改善」のための学校給食から、健康の保持増進や望ましい食習慣を養うことなど学びの給食へと変革してきました。

今、子供たちを取り巻く食環境は、私が学校給食の仕事をするようになった頃に比べると大きく変化しています。学校給食への期待は大きくふくらみ、栄養管理や衛生管理はもとより食に関する指導、食物アレルギーを持つ児童・生徒への対応など、なすべき事が多くなってきました。

このような状況で「私たちは学校給食にどう向き合い、どのように進むべきか」などについて考えながら、今までを振り返ってみたいと思います。

◇私と学校給食との出会い

私の子供の頃を知る人は、「えっ、学校給食の栄養士になったの？給食が食べられなくて、よく残されていたよね」というかもしれません。泣きながら食べていたこともありましたが、ですから、食べられない子の気持ちは痛いほどよくわかるし、頑張っている姿を見ると抱きしめたくくなります。そんな私も、成長と共に偏食もなくなり、食べることが大好きな大人になりました。栄養士となるきっかけは、料理の楽しさを知ったことと、食べる人の笑顔に出会ったことです。食べること、それは至福の時であると思うのです。

こうして、私は学校給食の栄養士として歩み始める事となりました。

◇調理員さんと教職員の方々との出会い

私たち栄養士の思いを実現してくれるのは、調理員さんです。

たくさん調理員さんとの出会いが、私の給食を支えてくれています。大量調理でも、ちょっとした工夫やアイデアでおいしい給食が出来上がります。調理員さんたちは、労力を惜しまず、子供たちの笑顔を思い浮かべながら調理しています。今、調理業務の民間委託が進み、正規採用の調理員さんが激減しました。しかし、立場は違っても子供たちを思う気持ちは同じで、変わらぬ愛情を注いでくれています。本当に感謝しています。

そして、私たちの思いを子供たちに伝え指導して下さるのは、教職員の先生方です。毎日の給食時間に、その子にとっての適量を考慮しながら給食指導に取り組んで下さっている先生方のご苦勞を思うと頭の下がる思いです。こんなふうに、学校給食は人と人とのつながりで成り立っているのだと感じます。

◇食育の教材となる学校給食

学校給食の時間は、食育の学びの時間であり、実践の時間です。

私が現在勤務する黒磯学校給食共同調理場では、手作り感のある献立を中心に、月1回「郷土料理の日」を実施しています。この給食を教材に「食に関する指導」を行い、子供たちに食文化や郷土愛を教えたいと考えています。

毎日の給食が、「食育の教材として恥ずかしくないものだろうか」「栄養価だけにこだわりすぎて変な組み合わせになってはいないか」「子供の好みに偏りすぎてはいないか」など自問自答を繰り返します。

私たち栄養士は「食に関する指導」について多くの機会をいただきましたが、学校給食がしっかりしたものでなくてはならないと思うのです。食育という言葉だけが一人歩きしないように、地にしっかり足をつけて、教材となるような学校給食の献立を立てていきたいと思っています。

◇最後に

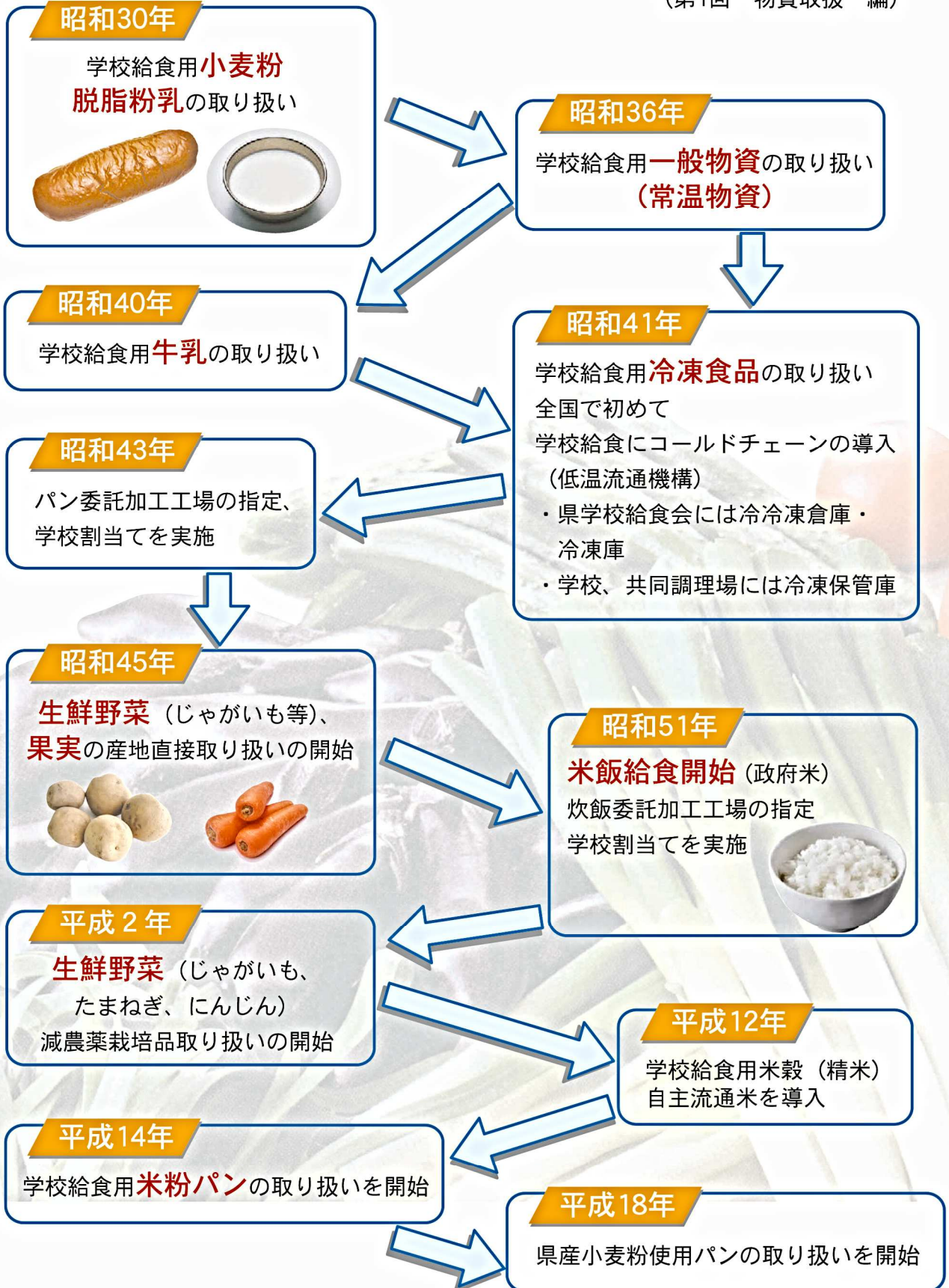
多くの先輩たちに出会い、たくさんのことを学びました。そのことが私の原動力になっています。先輩たちがそうしてきたように、私も後に続く後輩たちに何かを伝えたいと思います。私が、学校給食の仕事についてから40年の歳月が流れました。この節目の年に、自分を振り返る機会をいただけたことに感謝しています。

給食の先に子供たちのたくさんの笑顔があふれていることを思いつつ、学校給食がさらなる飛躍をしていくことを願っています。

(那須塩原市黒磯学校給食共同調理場)

栃木県学校給食会の歩み

(第1回 物資取扱 編)



参考資料

平成27年度 学校給食関係行事について

行事名	期日	場所	対象者	開催者
学校給食センター所・場長研修会 (物資流通研究会)	8月19日	宇都宮市	学校給食センター所(場)長	センター研究会、 給食会
全国学校給食振興期成会定期総会	未定	東京都	都県教委、給食会役職員、 学校給食関係者	期成会
全国栄養教諭・栄養職員研究協議大会	7月29日 ～30日	徳島県	栄養教諭・学校栄養職員等	文部科学省、 開催都道府県
学校給食栄養管理・衛生管理講習会	7月30日	宇都宮市	学校給食関係者	給食会
学校給食調理従事者等食育研究大会	8月20日	宇都宮市	学校給食調理員等	栃給研
県給食会第2回栄養管理委員会	10月2日	給食会	委員	給食会
県給食会第2回品質管理委員会	10月9日	給食会	委員	給食会
学校給食主任研修会	10月19日	宇都宮市	学校給食主任	県教委
県給食会第2回物資委員会	10月20日	給食会	委員	給食会
全国学校給食振興期成会振興大会	未定	東京都	都県教委、給食会役職員、 学校給食関係者	期成会
栃木県学校栄養士会研修会	10月23日	給食会	栄養教諭・学校栄養職員	学校栄養士会

■編集担当者より

今回の学校給食会だよりでは、栃木県学校給食センター研究会の古内会長（佐野市立北部学校給食センター所長）および那須塩原市立黒磯中学校（同黒磯学校給食共同調理場）の山田栄養教諭のお二人に学校給食への想いを文章にして頂きました。お忙しい中ご協力頂きまして、誠にありがとうございました。

また、皆様と接する機会の多い事務管理課および業務課の職員を紹介いたしましたので、担当の職員をどうぞよろしくお願い申し上げます。

今後も学校給食を実際に提供されている方のご意見や取組等をご紹介し、役に立つ情報を発信できるよう努力してまいります。

日 時：平成27年7月30日(木) 9:45開会(受付9:00~)

場 所：マロニエプラザ(栃木県立宇都宮産業展示館)宇都宮市元今泉6-1-37

内 容：【午前の部】(大ホール)

・講演「食と地域の絆づくり」 10:00~11:30

講師 永島 敏行 先生(俳優・栃木県を舞台とした映画「遠雷」で主演)

【午後の部】(小展示場)

・食に関するセミナー「食物アレルギーに配慮した食品への取り組み」

12:30~13:30

講師 日東ベスト株式会社 商品企画部

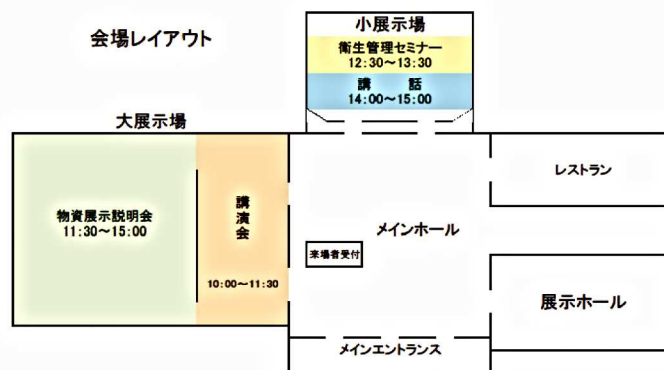
管理栄養士 稲葉ゆかり 先生

・講話「QOL向上のための食物アレルギーの食事と管理」 14:00~15:00

講師 独立行政法人国立病院機構相模原病院 臨床研究センター

アレルギー性疾患研究部 管理栄養士 長谷川 実穂 先生

・別会場では学校給食用物資展示説明会を開催、約100社が出展しております。



参加対象者：栄養教諭・学校栄養職員、学校栄養関係職員、学校給食関係者(校長、副校長、教頭、教諭、給食主任、調理従事職員等)、学校給食共同調理場・センター職員(所・場長、事務職員、調理従事職員、技術職員等)、市町教育委員会学校給食担当職員等、県立学校給食関係者、保育所・幼稚園等学校給食関係者

内容について、ご不明の点は学校給食会にお問い合わせください。
皆様の参加をお待ちしております。

